

1 【活動の趣旨】

本校における地域協働合校に係る課題を整理すると、主に以下の3点が挙げられる。①地域人材の高齢化が進んでいることに加え、後継者となる人材が不足していること。②地域協働合校の取組に、教職員が自発的・主体的に計画・運営する機会が少ないこと。③地域協働合校の活動支援・補助に「保護者」が関わる機会が少ないこと。

これらの課題を踏まえ、以下のことに取り組んだ。

2 【特徴的な活動内容】

○ 【保護者によるサポート活動（玉人楽支会：E-Sup.）と地域との連携強化】

本校はこれまで、PTA組織のあり方や、活動内容の見直しにいち早く着手し、その取組の一つとして、令和4年度に保護者による活動サポートチーム（通称：E-Sup.）を発足し、教育活動や学校行事のサポート、会員間の交流などに積極的に取り組んできた。さらに、これまで地域協働合校において、地域と保護者との連携が不十分であったことを踏まえ、地域・保護者によるそれぞれの支援体制を活かしつつ、E-Sup.と地域・地域団体との連携を重視し、これまで地域の方だけに担っていただいていた活動についても、E-Sup.が参画し、活動を通して、地域・保護者間の連携を深める機会を設けた。

○ 【教職員による E-Sup. の積極的活用】

E-Sup.の認知度や活躍場面が広く伝わるにつれ、各学年で保護者によるサポートを前提とした新たな活動が計画・実践されることが増加した。当初は依頼することへの遠慮や、見通しのないことへの不安などでとまどう教職員も見られたが、参加された保護者の感想や充実ぶりを見るにつれ、より積極的に活用していこうとする意識が高まった。



【E-Sup. を活用した
2年校外学習】

3 【実施に当たっての工夫】

E-Sup.公式LINEを作成し、各学年の活動予定、活動内容、募集案内等の情報共有を会員間でスムーズに行えるようにした。また、保護者リーダーと学校担当者間で行っていた連絡調整を、直接、各学年担当が行うようにし、連携体制の効率化を図った。

4 【事業の成果】

E-Sup.の発足から2年を経て、保護者間での認識が高まり、活動に対する理解や参画の機運の高まりを感じている。また、これまで地域・保護者がそれぞれで取り組んできた活動を共有・協働できたことで、地域・保護者の関わりが深まったことに加え、今後も協力して子どもを支えていこうと目的を一つにすることができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

取り組みを継続するためには、年度間の確実な引継ぎや、他組織（PTA本部、地域各種団体等）との連携強化が重要である。特に地域の強力な協力体制に支えられてきた地域協働合校の取組に、保護者がどのような形で寄与するのがよいのか、各関係者が密になり、お互いにとってよりよい体制を築き上げることが重要であると考えている。